

「一般有権者に届く大提案を！」

第5回日系政治運動シンポジウム

「控えめ」止め、しっかりと主張を

下本八郎元サンパウロ州議が主催する第5回日系政治運動シンポジウム(Movimento Politico Nipkeo)が3月13日(日)、サンパウロ市のブラジル日本文化福祉協会ビルで行われた。ゲスト講演者には福原カルロス氏、吉岡黎明氏が招聘され、日系社会と政治家の今後の在り方をそれぞれに語った。



左から西本エリオ元州議、聖州議、吉岡黎明氏、下本八郎元州議、福原カルロス氏、ヤスマラ・レジス副市長、清水オリジオ市議補佐官、羽藤ジェオルジ市議

長年、聖州議会などで儀典担当職員を務めてきた関係で、福原氏は古くから日系議員との関係が深い。「下本州議のことは40年前から知っている。当時は日系州議がほぼいかなかった時代で、その奮闘には常に敬意を抱いてきた。たかさんの有権者にも必要。例えば、日系コミュニティだけでなく、高齢者が増えている。彼らのための政策がもたらされるべき。リバーネズ(レバノン人)の政治家は数えきれないほどいる。彼らはみな良い補佐官を抱え、マスコミと良好な関係を

持っている。それも成功のカギだ」と述べた。懇話会を運営する救済会会長などを務めてきた吉岡黎明氏は、「私は日本人の中で生まれ育ったが、今は日系人票だけで政治家を擁立できない時代になった。ワッツアップなどのSNSを駆使しないと当選できない。私は子供の頃、修身の7の巻までやって倫理を叩きこまれた。日系政治家はけを応援するわけにはいかないが、正直な政治家に票を入れたい気持ちは強い。高齢者問題は大事だが、ブラジルにおいては倫理、教育も大事。基礎教育にもっと力をいれな

ランジャお話会

工夫満載の絵本読み聞かせ

パネル劇へ子供が夢中に

この国は良くなるならい」と述べた。それら講演に対し、西本エリオ元州議は「私が入れてくれた5万2千票が無駄になった」と落選を惜しむつつ、「22年政治家をしたおかげで、昨年落選したおかげで、時間ができた。たまたま心臓の検査を昨年したら、血管の40%が詰まっていたことが判明し、治療をして命拾いした」と良いこともあったと近況報告した。

「黎明氏が言う通り、日系票だけでは当選しない。日本の文化の重要性を訴え、日系人を選挙地盤の一部にすることは重要。日系コミュニティと一緒に大きな提案を作り、推進したい。日系人は控えめを美徳とするが、政治家としてはそこから一歩踏み出さなければならぬ。しっかりと主張してくる」と力を入れた。グアラランゲータ市市長のヤスマラ・レジス副市長は「今はSNSの時代。このシンポジウムをきっかけとして広めたい。我々もそれをシェアして広めるから」とコメントした。

聖市の羽藤ジェオルジ市議は「フェイスニュース(虚報)を流されて困っているが、それを打ち勝つためにもしっかり選挙地盤に実際に顔を出さなければならぬ」と述べた。日本文化を広める手伝いも大切だとして「しっかりと語りたい」と語った。

下本元州議は「日系政治家やリーダーが一般市民のために活動することをやるべきだ」と述べた。社会を良くしてブラジルの生活水準を上げることが目指してほしい」と締めくくった。

第5回日系政治運動シンポジウムの数日後、聖市の羽藤ジェオルジ市議は、母親がコロナウイルスの検査で陽性反応が出たことをメールで参加者に伝えた。ただし、市議本人は母親と10日間ほど身体接触がないとのこと。まさに、いつまで誰が感染しても不思議ないご時世になった。

緊急日誌

4日(土)昼、自宅電話にて「葬儀で電話の申し込みをキャンセルしてしまえ」という連絡を受けた。葬儀の申し込みをキャンセルしてしまえ。月々39レアルのご時世だけに、「いざという時に」というのは「コロナウイルスで斃れた時」を想起させる。皆が自宅に録音音声があった。来週が再来週には感染爆発が起きてもおもてないという。皆が「コロナ感染におびえる」というのは、人の不安に付け込んだような商法で、どこかブラックジョークのようだと呆れた。

WILL

フォン 続報

イッポンテック社が「WILL」による日本のテレビ視聴サービスを取次会社「Ippon Tec Soluções em In-

「コロナ禍」

で、いざという時には「う時」というのは「コロナウイルスで斃れた時」を想起させる。皆が自宅に録音音声があった。来週が再来週には感染爆発が起きてもおもてないという。皆が「コロナ感染におびえる」というのは、人の不安に付け込んだような商法で、どこかブラックジョークのようだと呆れた。

「臣民」

Jorge J. Okubaro

「臣民」

「臣民」

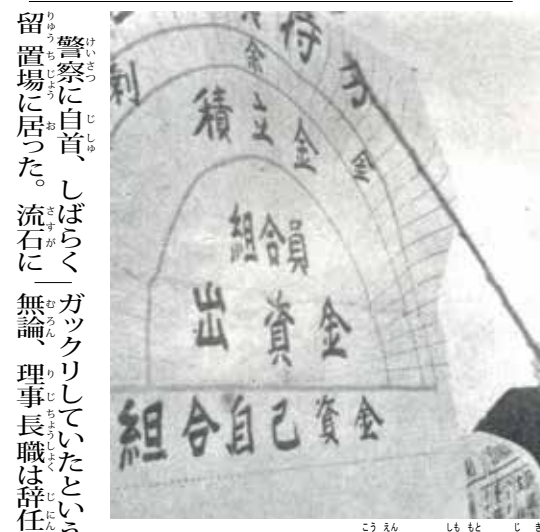
奇妙なきさつで理事長になった下元健吉であったが、その運勢は下げ潮に転じた。

まず、組合経営の采配が乱れ続けた。経営というものに関しては、全く未経験だったのだから、最初から巧く行く筈はないのだが、時期も悪かった。

1929年10月、ニューヨーク発の世界恐慌

が發生、ブラジルにも波及、バタタ(ジャガイモ)の市況まで暴落させたのである。1億5000万の価値をつけていた一級品が1000万に暴落した。理事長の下元は組合員に出荷停止を指示、市況回復を図った。が、指示は守られなかった。その頃、組合員の多くは、数年続いた好況に気を良く

して、プレスタソン(分割払い)でカミオン(トラック)や資材を業者から買い、植付けを増やしていた。暴落で、その支払いができず、資産を差し押さえられる者が相次いだ。そのため、抜け売りが発生した。抜け売りとはいわゆる、一人死なせて一人残すというのだ。1929年末のことである。



講演する下元 (時期不明)

「採配 乱れ続ける」

翌1930年も危機は続いた。市況は依然低迷していた上、リオの市場で販売を担っていた職員による巨額の拐帯(編注)一人から預かった金や品物を持ち逃げすることなどが発生した。組合幹部は必死に捜索、情報提供者への懸賞金付き新聞広告まで出した。が、徒勞に終わった。拐帯したのは、下元が理事長時代にその職を任せ た男であった。

1931年、またも奇妙なことが起きた。下元

「静かに聞き終わった老人、その考えが非であることを懇々と論じ、励ました。」

「組合がなければ、百姓は立ち行かん。自分が資金集めの協力をするから、もう一盞(一度)やれこれには、下元は泣き伏したという。

この老人の奔走、さらに総領事館の口添えもあり、結局、有志の13組合員が特別出資金を醸出、組合は窮地を脱した。ただし、これも前出の元監事によると、村上誠基が陰で動いて13人をまとめたという。(つづく)

「なにかいさんの悪い方のお爺さん嫌い」と物語にしっかりと感情移入できている様子。

また、三人の娘と参加した吉井沙緒里さんは「子ども達を飽かさず夢中にさせて、絵本をきかずに日本の行事や文化などを学ばせてもらっている」とイベント運営するボランティアに感謝した。

ランジャお話会は2018年に1回目を開催。メンバーの廣重希夢さんは米国や日本でも読

「化粧品の たけお店」

PERUMARIA TAKKO

たけお店

六九四一九三三

「戦前から教師として同地方の重要人物とみなされていた臣道聯盟は、彼をアララクラの支部結成の中心人物と考えた。DOPSは事前に組織の幹部を取り調べた。彼の調査結果、また、当地で臣道聯盟の会員の尋問を担当していた者の尋問結果をみて驚いた。支部を結成するまでに至らず、よって当地には支部がなかったのである」

つづいて高林は襲撃など一度もなかったのだから、参加するわけがないと証言した。そして、いよいよ正輝の番がやってきた。

「裁判所 尋問書。1954年12月3日、サンパウロ市第一地区裁判所内、尋問室において、プリニオ・ゴメス・バルボリーザ及び私、任命書記官出席のもとに保久原正輝、黄色が検査局、訴訟記載事項2ページ、尋問のため出頭し、弁護にモアシル・マンシオ・デ・トレド、弁護士を指名した。正輝はモアシル・マンシオ・デ・トレド、弁護士の業績を津波元一から聞いていた。弁護士の事務所はブラッサ・ダ・セー247番地のビル内2階235室にあり、すでに多くの臣道聯盟の被告を弁護しているその道のベテランだった。すでに多くの臣道聯盟の被告を弁護しているその道のベテランだった。正輝は被告の収入は低かったから、正輝にふさわしい弁護士といえる。彼は尋問当日になつてはじめて弁護士に会ったのだ。訴訟委任状にはすべてが書かれていた。「保久原正輝、日本人、1941年6月30日、アララクラ市警察署発行の外国人身分証明書345番所有、既婚者、職業、朝市商人、住所、サントアンドレ市セナドール・フラッケル街891番地は、モアシル・マンシオ・デ・トレド、ブラジル人、サンパウロ区域OAB登録695番、現在、検察省、第一地区裁判所で尋問中の臣道聯盟問題で起訴された被告人の委任者、弁護士として依頼する」



シャイオリス ト 外山 脩 (8)

「新日系コミュニティ構築の鍵を歴史に探る 傑物・下元健吉 その志 気骨 創造心 度胸 闘志」

「静かに聞き終わった老人、その考えが非であることを懇々と論じ、励ました。」

「組合がなければ、百姓は立ち行かん。自分が資金集めの協力をするから、もう一盞(一度)やれこれには、下元は泣き伏したという。

この老人の奔走、さらに総領事館の口添えもあり、結局、有志の13組合員が特別出資金を醸出、組合は窮地を脱した。ただし、これも前出の元監事によると、村上誠基が陰で動いて13人をまとめたという。(つづく)



パネル劇「マトリョーシカちゃん」の様子

「静かに聞き終わった老人、その考えが非であることを懇々と論じ、励ました。」

「組合がなければ、百姓は立ち行かん。自分が資金集めの協力をするから、もう一盞(一度)やれこれには、下元は泣き伏したという。

この老人の奔走、さらに総領事館の口添えもあり、結局、有志の13組合員が特別出資金を醸出、組合は窮地を脱した。ただし、これも前出の元監事によると、村上誠基が陰で動いて13人をまとめたという。(つづく)

漂流する出稼ぎ 日系ブラジル人の

アチバイア 松岡 岩雄

日系ブラジル人高齢者の孤独死 1990年代、日本では人手不足が起り、日本へ働きに来た外国人が...

会話が御馳走

サンジョゼ・ドス・カンポス 小林 音吉

義父が満州開拓団の一員として、今のロシアと中国の国境に入植した...



短歌で便り 香山より

第五十七回 (4月1日) サンノゼ 香山 正賢

春はいろいろな花が咲き誇り、私たちの気持ちも豊かになります。皆様お変わりなくお暮らしのことと存じます。

のブラジル政府も、これだけの日系ブラジル人が生活している日本の日系社会への援助や支援など...

義父は太って日本の地を踏んだそうです。正に雲が身を助けた。好例でした。

春はいろいろな花が咲き誇り、私たちの気持ちも豊かになります。皆様お変わりなくお暮らしのことと存じます。

報によると、ペイアレアの住人は収入のギャップにさらされている。ペイアレアの富裕層は貧困層の人々より12.2倍の収入を得ており、高所得層の年収は38万4千ドルに達している。

説明し賛同して頂いて、1日も早く団体や組織を立ち上げ、日景が安心して働ける環境作りを現していただきたいと願っております。

投稿者におねがい 読みやすい書体で、文章と一緒に送ってください。多すぎる場合は掲載できないことをご了承ください。

「らぶらた報知」4月2日付「フェルナンデス大統領は知事とのビデオ会議後の記者会見で、自宅待機は4月12日、日曜日まで延ばす事を発表...

アルゼンチンの外出禁止令 自宅待機は4月12日まで延期 エドワード・デ・ベド...

アルゼンチンのコロナウイルス 隔離から今日までの動向 【らぶらた報知 4月2日付】128人が新型コロナの感染者となり、国では、国内での症例の増加の可能性による人々の移動を防ぐために、亜国政府は、外出禁止令を発動しパンデミアの防止または伝染速度を出来るだけ遅くし医療崩壊を防ぐ為懸命に動いている。

新型コロナウイルス 新型コロナ隔離センターを設け 南部にあるフロレンシオバレーラ日本人会は、新型コロナウイルス感染者を受け入れる、市の新型コロナ...

トヨタアルゼンチンが提供 人工呼吸器製造に サニエ工場を 全対策を備えている。アンドレス・ワトソン・フロレンシオバレーラ市長が3月28日に日本人会を訪問し、「家族に感染させないよう、隔離だけを必要とし、入院者を受け入れ...



トヨタアルゼンチンが提供 人工呼吸器製造に サニエ工場を 全対策を備えている。アンドレス・ワトソン・フロレンシオバレーラ市長が3月28日に日本人会を訪問し、「家族に感染させないよう、隔離だけを必要とし、入院者を受け入れ...

